

幼児の教育

第四十八卷

第一號



日本幼稚園協會

N.R.A 指人形

(ギニョール)

入箱木麗美

指人形劇のやり方と作り方小冊子つき

定価金五百五十圓
送料 料 五十圓

皆様方がお待ち兼ねの指人形（ギニョール）が出来ました。楽しい緑の木蔭で面白い指人形をやつてあげて下さい。唯の口演や童話より子供達は面白いお人形の手振に一層ひきつけられて大喜びをなさることでしょう。

本品はNBA美術製作所による日本童話シリーズです。幼稚園保育所には非一組おそなへ下さいませ。

目 種

桃太郎、鬼、猿
犬、キジ
花咲爺、殿様
一寸法師、お姫様
舌切雀、おばあさん

保育證書

定価 二圓五十錢
送料 十枚まで五圓

輪廓は色刷、文字は墨で印刷してあります。縦六寸巾八寸三分
圓名入りの場合は一枚に付き別に三圓申受ます（但し百枚以上
て一月中に御申込願ひます）

新刊報告

小川未明先生著 挿畫 立野玲子先生 装幀

おうまのゆめ

B六判百廿頁 佛蘭西綴 定価金八十圓 送料拾圓

奈街三郎先生著 挿畫 装幀 山崎達夫先生

つきよのうみ

B六判百廿頁 佛蘭西綴 定価金八十圓 送料拾圓

幼年童話

發行所

東京都千代田区神田
神保町二丁目四番地

株式
會社

フレーベル館

振替口座東京
一九六四〇番

目 次

本年の保育界の展望（年頭語）	井本 農	一	（ 2 ）
幼児教育斷想	井本 農	一	（ 3 ）
分園保育の實態調査	山村 喜	よ	（ 7 ）
東京都私立幼稚園協會の現状	青柳 美智代		（ 15 ）
保 育 界 報			
全國保育連合會建議案			
關西連合保育會建議案			
第一回日本保育學會			
東京都保育連合會			
こどもらといっしょにお正月を迎える	倉 橋 敏	三	（ 27 ）
講 話			
幼児の心理的發展（一）	山下 俊 郎		（ 29 ）
會 考			（ 32 ）

本年の保育界の展望

一年頭語

國運復興を志す、教育の新發展の趨勢益々盛なる中に、昨年の幼児教育界の活動も亦、めざましいものがあつた。各地幼稚園、保育所の復舊増設は着々として進み、同志提携協力の諸會合も、到るところ盛況を呈した。その中にも、全國保育連合會の組織の確立と、日本保育學會の創立とは、全國的のものとして、最も顯著なものであるが、その奈良における千五百會集の大會と、東京における充實せる研究有志會とは、共に豫期を超える壯觀であつた。その他、東京都保育會、關西保育連合會を始め、各地保育會皆、戦前に勝るとも劣ることなき活氣を以て日本の保育界の將來に、堂々の希望を約束したのであつた。

本年において、昨年の勢の盛り上るところ、愈々その隆昌を増大することは、保育界の確信と期待とである。全國保育連合會は、本夏を期して、新潟市に開催せられるべく、地元の準備既に着々として進捗し、委員諸君と本部事務局との打ち合わせのための派遣も上京もあつて、周到の計畫が用意されつゝある。日本保育學會も亦、幼児心理、幼児生理、幼児教育の各方面の眞摯な研究家の研究を待つて、保育の學的建設のために精進しつゝある。その他各地各種の保育活動も亦、皆かつ目される。

しかも、この隆昌の間にも、幼児保育の充實のために、多くの所謂あいぢ、あり難點なしとはしない。その中でも、幼児教育者の養成については、率直に言えば、憂慮せられるところなしといえない。教員養成は、新教育充實の第一最大の要件であるが、現下のありのままにおいては、なお晏如たり得難いものが、各方面にあるが、幼稚園教員の豊富なる供給について、昨年の心配であり、本年の解決と實現に残されているといわなければならぬ。折角、幼稚園を學校教育法の體系の中に入れた文教當局の、この方面における一段の熱意を切望せざるを得ないし、保育界全體の奮闘を促進せざるを得ない。但しわれらは何等悲觀するものではない。成るべきものは必ず成らざるべからずという確信の下に、洋々の希望を以て、昭和二十四年を展望するものである。

幼 児 教 育 斷 想

東京女高師教授 井 本 農 一

高等學校の時に三枝博音先生からドイツ語を教はつたことがあつたが、その時のテキストはフリードリッヒ・ヘッペルの自敘傳であつた。私には大變面白かつたが、中でも彼が幼児の時の思ひ出を非常に鮮明に書いてゐるのには驚かされた記憶がある。私にも幼児の思ひ出が全然ない譯ではないが、その印象は決して鮮明ではなく、一部は長じてから両親やその他の年長者から聞かされた自分の幼児の頃の話や自分の想像などによつて形成されたものを、恰も自己の記憶であるかのように錯覺してゐるのではないかと思ふのである。これはもとより私の不敏によるものではあるが、しかし一般にある程度はいひ得ることではあるまいか。幼児を取り扱ふ場合に、人は自己の幼児の頃の記憶をたよりにして取扱ふ場合が多いが、その記憶は可なりいゝ加減なもので、例へば自分が幼児の頃こんな風に物事を感じてゐたやうに思ふと考へて、それを自分の子供にその儘おぼえてしまふことは、危険であるやうに私自身は思ふのである。だから、その誤差を修正するために、幼児に對する客觀的な、科學的な研究が進められ、それが幼児の取扱ひ方、幼児の教育に取入れられること

は當然であつて、近代の幼稚園教育は勿論その方向へ向つてゐることであらうと思ふ。私は幼稚園教育のことなどは全然無知なのであるが、一人の父親として漠然とさういふ風に考へ安心してゐるのである。

ところで、さういふ科學的な研究の成果として、理想的な子供部屋の設計が考案され、理想的な幼児の衣服が工夫され、理想的な食事が、理想的な陶冶の方法の數々が、考へ出されることは、勿論望ましいことであり、その理想的なものに出来るだけ近づくべく、世の父親、母親も力を盡くさなければならぬであらうが、時として科學的な研究を盲信することの餘り、餘りに非現實的な、非人間的な取り扱ひ方をすることとも起りさうに思はれる。といふのは、私の友人にも科學者を以て自任してゐる人々が可なりあるのであるが、その人たちと話をしてゐると、割り切れる筈のない人間のことを、あまりに簡単に割り切られてゐるのに、驚くことがあるからである。一見如何にも論理的なやうで實はおそろしく非人間的な、といふことは非論理的な判斷の下されることの多いのに驚くのである。勿論さういふ人達は實は本當の科學者ではな

いのであらうが、意外にさういふ場面に出くはすことが多いのである。何だか、人間を離れて別に科學といふ巨大な怪物があつて、それが人間をふり廻してゐるのではないかといふやうな印象を受けることもある。わかり切つたことであるが、科學は人間の科學である。學問の尊嚴とか、科學の重要性とかの爲に、人間の尊嚴が押しつぶされてしまつては、本末顛倒である。

幼兒の教育に於て、科學的研究の成果が十分取入れられるべきであることはいふまでもないが、それは同時にどこまで人間のなものでなければなるまい。即ち、一箇の人間としての博い教養と高い視野とが、科學的研究の成果を取入れる上での前提にならねばならないであらう。幼兒の教育者が健全な常識の持主であつてこそ、科學といふ巨大な怪物にふり廻されずに済むのである。だから豊かな教養を持ち平衡のとれた感情生活を營み得ることは、幼兒を取扱ふものの最初の條件といふべきではないであらうか。さういふ人間であつてこそ始めて、學問の奴隸とならずに、幼兒を人間的に扱ひ得るのだと思ふのである。尤も、これは「省みて他を云ふ」の類であつて、私自身がさういふ境地に至り得てゐる譯では決してないが――。

幼兒の言語について、特に兒童語といふやうなものはあるべきではないといつた人がある。多少發音のしにくい言葉で

x x x

あつても、幼兒が止むを得ず正確に發音出來ないのはしばらく黙過するとしても、大人はいつても正確に發音すべきで、幼兒に甘えてわざとその發音を崩すべきではないといふのである。例へば「いらつしやい」といふべきを子供の不十分な發音に真似て、「いらつチャイ」などと崩すべきではないといふのである。又「卵」といふべきを「タマタマ」といつたり、「髮」といふべきを「カンカン」といつたりするのは、無用のことで、最初から正しい言葉を覚えさせる方が、言語生活の發達が早く且つ順調だといふのである。しかし、これも、それこそ人間的な扱ひ方に従ふべきで極端な議論は避くべきであるが、しかし一面の眞理はあることを認めざるを得ない。幼兒の言語であるからといつて、何でも丁寧であればよいといふ譯のものではなく、やはり標準語に近い適當な丁寧さであるべきであらう。例へば「オ」の濫用などは兎角陥り勝なことで、名詞にはすべて「オ」をつけるものと思ひこませるやうな結果になることがある。幼兒の繪本をふと見てゐたらオスベリダイなどあつたが、これなどはスベリダイで十分ではあるまいか。大體現在の日本語は女性化の傾向にあつて、軟弱に、冗長になり勝であるから、敬語、或ひは丁寧語の使用が過度にならぬやう留意すべきである。といつて亂暴でよいといふのでは決してないが、敬語といふものは頻繁に使用すると、その語の本來持つてゐる敬意がすり切れてなくなつてしまふのである。「お宅の大將にこれをあげてくれ」とか「そつちの先生に居眠りしちやいやいけな」といつてく

んな」などといふ時の、「大將」や「先生」は大分使ひふるされてゐるし、「貴様」とか「お前」などは敬意がすり切れ果ててゐる方であらう。そこで敬意を表す必要が切實であるとして、「先生様」などといふやうに本来の敬語の上に更に敬語を添へなければならなくなり、言語が冗長に軟弱になつて行くのである。それを防ぐには敬語を抑制して使ふことであつて、使ふべき時には必ず使ふと同時に、過度に使用しない用意が必要である。幼児の言語生活についてもこのことはいひ得るのではあるまいか。尤も小學生あたりの粗野な言語が幼児の言語を亂暴にしてゐる場合の方がむしろ多いのが現状であらうから、丁寧になり過ぎることより、やはり丁寧でないことを愛ふべきであるかとも思ふのではあるが――。

× × ×

私の父親は教育に關係してゐたので、子供の教育について父親に相談に来る人の話を、私は少年時から洩れ聞いてゐた。そこで長じてからも、人のところへ子供の教育のことで頼みに行くのは厭だ、子供だけは劣等兒でないのが欲しいなと思つてゐた。ところが人並に私も子供を持ち、だん／＼成長して行くのを見ると、私や私の妻や私の親戚たちの持つてゐる厭な點や困つた點をそのままそつくり持つてゐるのに且つは驚き且つは歎いたことなのである。考へてみればこれは當り前のことで、勿論子供自身には何の罪もないことで、さうであればこそ益々いじらしく感ずるのではあるが、この

間中村草田男さんに會つてその話をしたら、あなたなんかはそんなことはないだらうと思つてゐたのに實に意外な氣がした、私などは始終さういふことを感ずるといふやうなことを話され、自分ばかりではなかつたのかと思つたのである。親は誰でも自分の子供に夢を托するものであらうが、私も夢から醒めて見ると、健康な市民として「ホメラレモゼズ、クニモサレナイ」質實な人間に成長するやう子供を育てて行かなければならないとつく／＼思ふのである。こんなことは誰でも知つてゐる常識であらうが、やはりその場にならないと身に泌みてわからないのが人間といふものであらう。さうして、敢へていへば、世の父親、母親も、子供の教育についてはまづ健康な市民といふ最低の目標を立て、それ以上は子供の才能が自ら伸びて行くに従つて目標を變へるべきで、始めから親の夢を子供に強請することは、子供にとつても不幸であり周圍にとつても迷惑といふものではあるまいか。

× × ×

幼稚園の保母さんの仕事はいはゞ献身である。献身であるところにその仕事の尊さと純粹さがある。勿論どんな仕事だつてさうあるべきであり、別して教育についてはさういへよう。しかし高等學校や大學の教育の先生たちは必しも献身をしてゐない。献身をしてもその献身によつて直接酬はれるところがある。ところが、幼稚園の保母さん達は、その仕事に常に献身を要求しながら、何等直接の報酬がないのである。

例へば大學の先生たちには獻身の報酬として弟子が出来、立派な弟子に取り巻かれて自己の王國を建設することが出来る。だが幼稚園の子供達は十年も経つともう自分の汚れ物の世話をしてくれた保母先生の名前すら忘れてしまふのが大部分である。自分が一人で大人になつたやうな顔をしてゐる。あんなに可愛がつてやつたのに——といふ歎きを保母さん達は持たないではゐられないであらう。それは人間として無理もない歎きである。いつも様の下の力持ちに終始してゐるもの押へ難い溜息であらう。だが、それだからこそ始めてその仕事が獻身だといひ得るであり、その仕事の美しさと尊さが出てくるわけなのではあるまいか。私は自分の子供が世話になつてゐる幼稚園に行く度に感動を覚え、又心の和らぎを覚えるのであるが、それは次の世代の爲に獻身する保母さん達のこのいはゞ無償の行爲の美しさが私を打つのであらう。實際學者とか教育家といふ人達の中に勉強家や努力家は多い。だが大抵はみんな博士號が欲しかつたり、名聲を欲する人たちである。もう四十年近くも前に森陽外が一當流比較言語學」といふ一文を替してゐる。少し長いが一部を引用しよう。

或る國民には或る詞が關つてゐる。

何故關つてゐるかと思つて、よく／＼考へて見ると、それは或る感情が關つてゐるからである。

手近い處で言つて見ると、獨逸語に *Streber* といふ詞がある。動詞の *streben* は素と體で無理な運動をするやう

な心持の語であつたさうだ。それからがくやうな心持の語になつた。今では總て抵抗を排して前進する義になつてゐる。努力するのである。勉強するのである。隨ての *Streber* は努力家である。勉強家である。抵抗を排して前進する。努力する。勉強する。こんな結構な事は無い。努力せよといふ漢語も、勉強し給へといふ俗語も、學問や何か、總て善い事を人に勧めるときに用ゐられるのである。勉強家といふ詞は、學校では生徒を養めるとき、お役所では官吏を養めるときに用ゐられるのである。

然るに獨逸語の *Streber* には嘲る意を帯びてゐる。生徒は學科に骨を折つてゐれば、ひとりで一級の上位に居るやうになる。試験に高點を贏ち得る。早く卒業する。併し一級の上位にゐよう、試験に高點を貰はう、早く卒業しようといふ心掛ける、其心掛が主になることがある。さういふ生徒は教師の心を射るやうになる。教師に迎合するやうになる。際進をしたがる官吏も同じ事である。其外學者としては頻りに論文を書く。藝術家としては頻りに製作を出す。えらゐるものもえらくないものもある。Talent の有るものも無いものもある。學問界、藝術界に地位を得ようと思つて骨を折るのである。獨逸人はこんな人物を *Streber* といふのである。……學問藝術で言へば、こんな人物は學問藝術の爲めに學問藝術をするのではない。學問藝術を手段にしてゐる。……日本語に *Streber* に相當する詞が無い。それは日本

(十四頁へつづく)

分園保育の實態調査

東京都保育會研究發表委員會

擔當者 都立西櫻幼稚園 山村 嘉 子

新保育の目標が個人を對象として其の保育方法を考え出す様は、「保育要領」を以て示され、以上、その一つの工夫としての分園保育ということについても、一應検討して見る必要があると存じます。殊に四十名乃至五十名の幼児を支持つ保母が、その一人々々をはつきりみつめて行く爲には、一齊的保育よりもグループ保育の形をとらねばならないと思ふので御座います。しかし現在東京都公立の三十六園中、わづかに三園しか獨立園舎をもたず、しかも未だ復舊されない小學校に併設されてゐる状態に於いては、どうしても理想の分園保育はなし得ないと言ふ聲が多く、舊態依然としていわゆる昔の型にはまつた保育をしている所が「なきにしもあらず」といふ心配から、兎に角その實態調査をいたし、ありのままの現狀を報告していただいたわけであります。

第一回の調査としては、皆様からいただいた報告を、言葉もその儘項目別に羅列したばかりであります、この結果によつて、なるほど分園保育は必要なことであつた。子供達

を、このましい分園にさせ易い環境におくことが、大切なことであると感じたのであります。殊に失敗と、成功との點を比べて見ます時、又保育効果から見ると一齊保育と分園保育の差を考えた時、嬉しく思われる報告が澤山ありまして、たしかに、新保育目標達成の一つの裏づけを、發見されるのであります。そうして努力工夫によつては、その失敗をつゞけないですむような具體的な希望まで、うかがひ知る事が出来たのであります。しかしこの努力工夫が並大抵の事ではなく、結局は保母その人の教育的信念と技術にまつより他はないと思われるのであります。わけでも、報告にもあります様に、幼児たちの緊張をほどく爲に出来るだけ楽しい遊び場所の工夫をしてやる事が大切で、これには保母の非常な努力が必要であり、且つ子供たちの動きにたえず目を見はつて、よい自然の分園にもつて行くべく機会を捕え、鋭い感覺を持つておなければならぬと、つくづく思ふのであります。又、此の報告から感ぜられることは、分園保育が何か特別な、大變む

つかしいことのようにも感ぜられますが、實は決してどうでなく子供の自然の動きの方向がまとめられて、あちこちに小さなグループがつくられるのでも充分だということも感ぜられるのであります。

調査の全體の結論として申上げたいことは、現在の東京都の公立幼稚園の環境では、毎日幼児を好ましい分園におく事はとうていでき難い事で、保姆の仕事も過重になり易いから、分園保育と一齊保育をとりまぜて行なう他はないと言ふことに、一同の意見が一致したわけであります。不充分的小さい研究であります、此の調査を手始めに度々實態の調査をしながら、反省と努力をつづけるために、皆さんの御批判と御協力を願いたく、一資料として發表いたします。

○分園保育の實態調査票

- (一) 現在分園保育をする上じやまになつてゐる點
- 1、幼稚園の設備及環境
 - 2、幼児の家庭環境
 - 3、其の他
- (二) 分園保育の形式は
- 1、組の中で行いますか。
 - 2、組をばぐして行いますか。
- (三) 今までに行つた分園は左のどれに當りますか。
- 1、先生が計畫した分園保育を一週に何回位
 - 2、幼児の自由遊びを發展させた分園保育を、一週に何回

位

(四) 分園保育を行つた結果は

- 1、失敗したと思ふ點
- 2、成功したと思ふ點
- 3、グループの人数は何人位が適當か
- 4、現状のまゝでは、どうしても出來ないと思ふ點
- 5、努力、工夫によつては出來ると思ふ點
- 6、其の他

(五) 保育效果に現はれた分園保育と一齊保育との差

- 1、幼児に及ぼす身體的影響
- 2、幼児に及ぼす精神的影響
- 3、幼児に及ぼす社會性上の影響
- 4、家庭に及ぼす影響
- 5、其の他

(附記)

◎この調査表に記入する際この項目以外に御氣付きになられた點がございましたら、お記し下さい。

○調査園數 東京都公立幼稚園三十四ヶ所

(二十六園中二ヶ所未提出)

○各園平均幼児數 百二十名

○各組平均幼児數 四十名

○各園平均教諭數 三名

(調査、昭和二十三年十月)

○調査報告（○印はどの幼稚園でも同一記入）

(一) 現在分園保育をする上にじやまになつてゐる點

(1) 幼稚園の設備及び環境

○(イ) 園舎が小學校と併設の爲學童に幼児の生活をこわされる。

○(ロ) 遊具不足、資材不足。

○(ハ) 幼児數に對して教諭數が少い。

(ニ) 環境のすべてが分園保育に適さなからい。

(2) 幼児の家庭環境

○(イ) 一齊保育をすることが幼稚園の正しい保育とのみ思ひ込んでゐる家庭が多い。

○(ロ) 目に見える保育効果を（唱歌や遊戯を澤山におぼえること等）望み過ぎてゐる家庭が多い。

○(ハ) 今の生活状態では各家庭で普通の禮儀、躰さへもしてゐない。それでせめて幼稚園で無理をしても、形の躰けをしてほしいと希ふ家庭が多い。

(ニ) 家庭で幼児に對する日常の教育があまりに強要することが多く、幼児自らの發表、表現をおさへてゐる傾向がある。

(ホ) 放任主義と世話をやきすぎると家庭の差が甚しからい。

(3) 其の他（報告なし）

(II) 分園保育の形式は

(1) 一組の中で行ひますか。

(イ) 一組の中で行ひます。(十三)

(ロ) 一學期二學期は組の中で行ひます。

(2) 組をほぐして行ひますか。

(イ) 組をほぐした方がやりよい。(七)

(ロ) 特別の行事、遊戯等の時は組をほぐす。

(ハ) 子供達が自然に組をほぐして自由に分園に加わらる。

(ニ) 計畫によつて適當に行ひ。

(3) 其の他

(イ) 兩方を行つてゐる(五)。

(ロ) 組の中の分園でさへきけんで案じられるのに、組をほぐしてなぞとても出来なからい。

(三) 今までに行つた分園保育は左のどれにあたりますか。

(1) 先生が計畫した分園保育を一週に何回位行ひますか。

(イ) 一週に一回位 (一〇)

(ロ) 二回位 (五)

(ハ) 三回位 (四)

(ニ) 四回位 (三)

(ホ) 五回位 (三)

(ヘ) 毎日 (四)

(2) 幼児の自由遊びを發展させた分園保育を一週に何回位行ひますか。

(イ) 一週に一回位 (一一)

(ロ) 二回 (一一)

(ハ) " 三回" (五)

(ニ) " 四回" (二)

(ホ) " 五回" (六)

(ヘ) " 毎日" (五)

(3) 其の他

(イ) 登園から集合までは殆んど組をほぐして分園を主とした保育をする。集合した後で三週間同一——二回の分園保育をする。

(ロ) 幼児の自由遊びの發展でもなく、又保婦の計畫でもなく、發表力のある子供を一人づつグループに入れてリードさせる。

(四) 分園保育を行った結果は

(1) 失敗したと思ふ點

(イ) 手不足の爲躰が徹底させにくく、計畫が最後まで遂行出来なかつた。

(ロ) ぼんやりした社會性の乏しい子供はいつもこぼれこぼる。

(ハ) 子供達にまとまりがつかなかつた。

(ニ) 全體に目がとどかず事故を起しやすい。又小學校の先生方から文句が出た。

(ホ) 入園當初子供がかへつてしまつてもわからなかつた。

(ヘ) グループ以外の子供に刺戟されて落ちついて仕事が出来なかつたため、注意散漫となり、いゝかげんの

仕事をするやうになつた。

(ト) 自由意志を重んじたために放縱となつた。

(チ) 特殊の子供に目がとどかない。

(リ) 團體行動がうまくとれなかつた。

(ヌ) 遊びがたよつた。

(ル) 職員数が少いたために、自分がぼうつとして分園に入れなかつた。

(ヲ) 監督なしには出来ない仕事を同時に二つ以上行つたために混雜した。

(ワ) 子供達が利己的になつた。

(2) 成功したと思ふ點

(イ) 幼児がのび／＼として登園を喜ぶやうになつた。

(ロ) グループの目標に向つて相互的に協力し合ひ、楽しい雰囲気をつくる(けんくわ等少)。

(ハ) 積極的な自發活動が見られ社會性が出来て来た。

(ニ) 一部の幼児は非常に満足し、仕事に没頭し得た。

(ホ) 仕事に對する興味を持ち喜んで自發的にしていた。

(ヘ) 自己の自由表現が活潑になるので子供の個性がよくわかる。

(ト) 自治生活が訓練づけられ、幼稚園生活への興味を早く見ることが出来た。

(チ) 自然の形で保母の計畫の中へとけこんで來ることが多し。

- (リ) いろ／＼のことに對する發表力が増して來た。
- (ヌ) 子供が先生を信頼し安心して生活するので、個性がはつきりつかめるやうになつた。
- (ル) 子供ながらの批判力が養はれた。
- (3) グループの人数は何人位が適當と思ひますか
- (イ) 五人から十人まで。
- (ロ) 年少組は五、六人、年長組は十人位。
- (ハ) 十人から二十人まで。
- (ニ) 分團の性質、目的の内容によつて違ふ。
- (ホ) 最高二十名まで。
- (4) 現状のままではどうしても出來ないと思ふ點
- (イ) 幼児が多すぎる。
- (ロ) 材料不足。
- (ハ) 設備不充分。
- (ニ) 環境がわるい。
- (ホ) 人手が足りない。
- (5) 努力、工夫によつては出來ると思ふ點
- (イ) 保母の人数を増すこと。
- (ロ) 遊具をそろへること。
- (ハ) 幼児の氣分轉換によつて、机の配置等工夫すること。
- (ニ) 晴天の時は園庭を利用して充分な計畫さえすれば満足な保育が出來ると思ふ。
- (ホ) 家庭とよく連絡をとる。

- (ヘ) 資材を豊富にして前日充分な用意をしておく。
 - (ト) 組をほぐして行ふと(幼児の興味を中心)種類
の少ない材料を多くの子供によく活用することが出來
る。
 - (チ) 保母が新保育をよく理解し念頭からはなさずいつも心にかけていることが何より大切と思ふ。
 - (リ) 子供のリーダーをうまく指導すること。
 - (ヌ) 子供達の心をもつと緊張からほゞどいてやること。
 - (6) 其他(なし)
 - (5) 保育効果から見た分團保育と一齊保育の差
 - (1) 幼児の身體的に及ぼす影響
-
- (分團保育)
 - (イ) 表面に現はれる程の變化はないが幼児が活動的に
なり澄測として來た
 - (ロ) 疲労が少い
 - (ハ) 少人数を對照とする爲
子供の健康状態がよくわか
る
 - (ニ) 活動性のある子供は常に
身體をうごかすのでますます
活動的になつて成長が見
られるが逆な子供は置き
ざりにされる
-
- (一齊保育)
 - (イ) 常に緊張してゐる爲に
神經質になる幼児がある
 - (ロ) 落ちこぼれなくある程
度同じ活動が出來る
 - (ハ) いろ／＼の個性の子供
を一緒に保育することは幼
児の身體に無理が多い
 - (ニ) 誰もが一緒に畫いたり
踊つたりすることは見た目
を満足させるのに過ぎない
 - (ホ) 一齊保育といへども指
導の如何に依つては身體的

(ホ) 子供に依つて又分園に依つてつかれの甚しいときがある

(ハ) 身體的の發達に無理がある

(ト) いつも製作にばかりかゝりつきりの子供は健康上どうかと思ふ

(2) 幼児に及ぼす精神的影響

(分園保育)

(イ) 子供に劣等感をいだかせないで済む

(ロ) 粗野になつたり落ちつきない幼児が多くなるやうに思ふ。しかし組をばぐした場合は幼児全體の親しさが増して教育されているといふ感じが少

(ハ) 意志表示がはつきりする

(ニ) よき分園が出来た時は幼稚園に對する安心感

に悪影響を及ぼすことはな

(ハ) 子供に疲勞があつても保母にわかりにくい

(一齊保育)

(イ) 嫉がつけやすい

(ロ) 忍耐力が出来る

(ハ) 劣等感をもつ子供が出来る

(ニ) 一齊に保育した場合には子供達が何か自分といふものをおさへてゐるので落ちついて皆と一緒にするといふ態度はよく養はれるがよそ行きの氣分がとれない

(ホ) 動と静とをはつきり味はせることが出来る

が出て各兒の遊びが自然に發達すると思ふし又先生に對する信頼感が深くなる

(ホ) 一部分の子供が専横になる

(ハ) 子供が濺溺として仕事に向ひ研究心が養成される

(ト) けんくわをしても子供達が解決する

(チ) 計畫的に遊びをするやうになり自制心も出来て來るがすき嫌ひの差がはつきりしてわがまゝになつた

(リ) グループの和は好むが全體的に協力しない

(3) 社會性に對する影響

(分園保育)

(イ) 社會性が發達する

(ロ) 好むグループに入り満足する

(ハ) 意志をよく發表する

(ハ) 皆と一緒にすること

(ト) わがまゝが矯正される

(チ) 十人十色の子供を一齊にするので進歩的な子供はある程度でとまり非社交的な子供は餘程注意しないとれる心配がある

(リ) 落ちつきが出来る

(ヌ) きらいなことも一緒にさせられる爲に不眞面目な者が出来て又先生への依頼心が強くなる

(ル) 先生の話によくきゝ入る

(ヲ) 全體的に協力する

(一齊保育)

(イ) 内氣な子供を發展性の子供に近づけ得る

(ロ) 社會的の規則が守られ易い

- ことが出来る
- (ニ) 個性がはつきりわかる
- (ホ) 子供の周囲に對する批判力が出来る
- (ヘ) 仲よく教へ、ことに年少の者をいたわる
- (ト) 利己主義になる
- (チ) 子供同志の制裁でうなづき自己を抑制する
- (リ) 發表性のある子供と内氣な子供とで伸び方の差が甚しい
- (ヌ) 園外保育の場合ならんで歩けない
- (ル) 思ひやり、うるほいのある子供が出来る
- (ヲ) 積極的に遊ぶやうになる、獨立性、及び責任感が養へる
- (ワ) 遊びに深味が出来る
- (四) 幼児の家庭に及ぼす影響
- (分團保育)
- (イ) 分團保育に對する理

- (ハ) 秩序を守り易い
- (ニ) 注意力を集中させ得る
- (ホ) 消極的になりやすく明朗さをかき明るい遊びが見られない
- (ヘ) 社會性をかき個人的になり易い
- (ト) 個性が失はれやすい
- (チ) 自發性をかく
- (リ) 保母に頼りすぎる
- (ヌ) 協同性が見られない
- (ル) 自分の意志をはつきりさせず他人の意志にしたる傾向が見られる
- (イ) 齊保育
- (二) 齊保育
- (イ) 保母の意志通りに動

- 解がない爲に一齊保育を望む家庭が多い
- (ロ) 他の子供が新しい唱歌をおぼへいる／＼のお仕事をする時仲間に入り得ない事を親自身さびしく思ふらしい
- (イ) 幼稚園へ登園する事を喜ぶやうになつた
- (ニ) 自發的となり家の手傳ひをよくする
- (ホ) 自分で自分を處理するやうになつたと喜ぶ
- (ヘ) 家庭でも自分の好きな事ばかりやつてゐて大人と言ふことをきかない
- (ト) 細かい嫌が屈かないとこぼす家庭がある
- (5) 其の他
- (分團保育)
- (イ) 子供達が自分の目でみつめる力が生れた
- (ロ) 製作などした場合合作つた子供は持つてかへり

- く幼児達の様子を見て幼稚園に出した甲斐がある
- と喜ぶ家庭が多い
- (ロ) 幼稚園で一齊的に嫌けた規則正しい生活を家庭に延長して喜んでゐる
- (ハ) 一齊保育が正しい保育と思ひこんでゐる
- (二) 齊保育
- (イ) 手不足の事から考へた場合一齊保育の方が身體的のけがが少い
- (ロ) 他動的でわるいかも

たがるが、作らない子供の事を考へると持たせられない

(六) 子供の遊びが一方的になり一日何もせずに運動場で遊ぶことが多い

しれないがまともがつか
(七) 個性はのぼすがある場合は社會生活をする人の爲に我慢する。協力する氣持ちを養ふ上に一齊保育も必要である

(六) 附記(此の調査表に記入の際この項目以外にお氣づきになられた點が御座いましたらお教へ下さい。)

(イ) 小學校に併設されてゐる幼稚園は常に學校との折合を考へるので、幼稚園だけを切離しての保育は考へられなす。

(ロ) 自由に保育された子供は、學校へ行つて喜ばれない點がある。

(ハ) 年長、年少兒、及び昨年度から引續き保育を受けてゐるものゝ混合組にした。その結果は割合に仲よく出来る。

(ニ) 一日の中適當に一齊保育を入れて氣持ちを整理し安靜にさせることが必要と思ふ。

(ホ) 實際の統計には大分理想が入つて來るのではない。

(ヘ) 分團保育も一齊保育も兩方によい所があると思ふので、とりまぎて正しい方向に持つて行き度い。

(ト) 現状のままでは小學校も幼稚園もお互に困難が多い

し、又此のままでは新保育を完全に行ふ事は出來ないから、是非獨立園舎の増設をのぞむ。

(チ) 一齊保育と分團保育をくらべた時に理論ではいろいろと差が出て來ますが、實際にはあまりよくわかりませぬ。

(六頁より)

人が Streber を卑むといふ思想を有してゐないからである。

(當流比較言語學)

鷗外がこれを書いてたのは明治四十二年である。それからもう四十年にもならうといふのに、相變らず日本では學界にも藝術界にも教育界にも、謂ふ所の Streber が充滿してゐる。だが、私の知る限りでは幼稚園にはこの Streber が少いやうである。又萬一 Streber がゐては、取扱ふ對象が純心な幼兒であるだけに弊害が深刻であるが、Streber の存在をおのづから少くするやうなよい勢團氣がここにはあるのではないかといふ氣がする。自分が獻身をしないので人に獻身を要求することは出來ないが、幼稚園の仕事は Streber の仕事でなく正に獻身であつて欲しいと思はずにはゐられない。それだからこそ私共はこの仕事を讚美し、この仕事を尊敬するのである。技術や理論はそれからである。

東京都私立幼稚園協會の現状

東京都私立幼稚園協會理事長 青柳美智代

「幼児の教育」編集部の求めにより、本協會の歩んだ道、また現在の状況などを發表させて頂くことにした。殊に私立幼稚園の今後の在り方の自覺と、全國的な統一連絡のために少しでも役立てば幸ひと思ふものである。

X X X

去る昭和十六年頃には、東京都の私立幼稚園数は既に二百九十餘園が認可されてゐた。昭和初年には百餘園に過ぎなかつたものが十數年間に、三倍にも達する實に目覺しい發達をしたものである。更にその頃は、毎月五ヶ園位宛設立されつゝあつたから、東京都保育界に占める私立幼稚園の地位は數の上から、實に強大なものであつたのである。然し乍ら、この様に實に目覺しい發展をしてゐるのであつたが、各私立幼稚園は相互に全く連絡もなく、親睦の機關もなく、個々バラ／＼の存在であつて、今から考へると不思議な状態にあつたものである。嘗つて東京保育連合會と云ふ、團體のあることは聞いたが、その團體も有名無實と見えて、加盟してゐると云ふ幼稚園がない。従つて、この多數の私立幼稚園は、各々

獨自、各々好き勝手な道を歩んでゐると云ふのが、その頃の私立幼稚園界の状況であつたのである。

殊に幼稚園は傍系の教育機關であつたために監督の任にある東京都も、設立認可に際しては、相當面倒な規則を示して、指導監督をされてゐたが、一度認可して仕舞ふと、その後は全く、すて兒も同様、教育局の私立幼稚園名簿に園名を留めてゐるのが、云はゞ教育局と私立幼稚園との關係のやうなものとなつて過言ではない状態であつた。

X X X

本協會は、斯うした私立幼稚園界の状況に對する、全體の不満とそして解決のために全私立幼稚園の協力を得て、昭和十七年九月に創立されたものである。その宣言文にも
『私をはなれ、情實をすて、一致團結して明日の保育へ進み度い』と掲げてゐた。而して創立された私立幼稚園協會の初代会長には東京都の時の學務部長加藤初夫氏が推薦された。幸いにして東京都私立幼稚園三百餘は欣然として學つて加入され、保育の研究にまた充實に更に會員相互の親睦と提携

に、幾多の貴い事業足跡を残して来たものである。

而してその後戦争のため、その戦禍の苛烈になるに及んで、突如緊急措置命令と稱する『幼稚園休園命令』となり更に教育團體の統制のために、本協會の解散を命ぜられるなどのことのために、漸く誕生し、貴重な一致團結の機運が實を結ぶの時に際して、不幸な戦争のために、本協會の活動も中絶し、組織も終焉するの運命となつたのである。思へば幼稚園の休園措置など、不合理極まるものであつたが、あゝした處置を受けると云ふこと、そのことが既に幼稚園が團結力がなく、社會的に實力のない證據であつたことが、實に残念に思はれた。

終戦後、戦火のために七十餘園に激減してしまつた都私立幼稚園が、新たな構想のもとに、團結し發足したのが現在の私立幼稚園協會である。現在はその會員數も漸次増加して、百四十ヶ園に達し、益々増加し復興しつゝあることは實に喜ばしく思ふ。

協會の組織も民主的に改められた。東京都の十一區に各區保育部會を結成し、區部會を單位に理事を選出して理事會を組織し、執行部は理事會より選出すると云ふ組織になつてゐるため、會の運営は會員の意志によつて行はれるやうになつ

てゐる。また協會の理事會と各區保育部會は、直結して、活潑に運営されてゐる。

教育制度改革に依り、私立學校は自主的運営と云ふ劃期的な立場を與へられた。私立幼稚園は、今後この與へられた自主的立場を眞に理解し、最も有效適切に生かして行くことが大切であると思ふ。本協會の今後の使命も、任務も、この自主的運営の確立にあるやうに思ふ。

現在、東京都の私立幼稚園に對する行政面の連絡は、上述の線に添つて、殆んど本協會を通じてなされてゐる。本協會が、行政の代行機關のやうな役目を果してゐるのである。そのため謄寫版刷ながら、毎月大體四頁の會報を發行して、會員相互の連絡通達と各種の協會專業の計畫遂行のために紙面を用ひてゐる。その他講演會、講習會の開催、保育料の協定、教職員の特遇改善のため初任給の協定、配給、その他、事業は益々多く、また廣くなりつゝある、殊に日本私營團體總連合會に第五部（幼稚園）が設置されて、全國私立幼稚園團體連合會が加盟し、その事務局の仕事も、本協會が委託されてゐる現状では、到底片手間にては、本協會の事業は完全に遂行出来ないで専任の書記を常置の必要に迫られて、理事會に於て考慮されてゐる現状である。

本協會は、私立幼稚園のために、率先して、そのもつ私立としての特色を生かし、その私立として〇理想と使命を達成するために、進んで行きたいと考へてゐる。

× × × × ×
 全國私立幼稚園團體聯合會、即ち日本私學團體聯合會第五部の性格や專業に就ては、同會報にて、報告されてゐるから、此處では觸れないでおく。若し同會報入用の方は、申越し願ひ度いと思ふ。日本私學としては、私立幼稚園のみが、全國的の實體を今以つて知ることが出來ないでゐる。そのため日本私學として甚だ不名譽に考へられる。就ては各府縣毎に私立幼稚園の連絡を是非共確立願ひ度いと思ふ。實體が不明なのでは、基礎となる資料がないから、すべての特典から除外される結果となるので誠に残念に思ふ。

最後に本協會の活動方向の一面を示すものとして、九月二十日感應幼稚園において開催された協會主催の保育研究發表會の發表題目を掲げることとする。兎に角幼稚園界一般に缺けてゐるものは保育の科學的研究と、關係者の一致團結の精神である。幸ひに、全國保育連合會も誕生して、一致團結の精神だけは遅まき乍ら、胎動を初めたことは、他の教育團體の活潑なる動きの反映とはいへ、誠に喜ばしく思ふ。而して保育の研究は、遅々として進まないやうに思ふ。本協會の保育研究發表會はその一つの助長として役立つことを、念願として計畫されたものである。當日は三百八十餘名の参加會員があり、終日活潑なる研究發表と、質疑應答がかわされて實

に、有益な一日で會員一同に喜ばれたのである。

研究發表題目

イ、保育の實際

- 夏期保育と保健 日本大學幼稚園 山田言惠
- 一日の保育プラン 成城幼稚園 彌富綾子
- 創作手技 日の丸幼稚園 平井貞子
- 自然觀察の一部 鶴の木幼稚園 加藤鏡子
- 幼稚園の壁新聞 聖美幼稚園 内山千枝子
- 私の思ふ良い子供の歌曲 靈南坂幼稚園 大中寅二

ロ、保育理論

- 幼児の個人差に就て 聖心學園幼稚園 坂内みつ
 - 本園に於ける園児のメンタルテスト(知能と性格) 清明學園幼稚園 川添サラ
 - 園児の金遣ひに就て 感應幼稚園 田宮紀子
 - 幼児と宗教 共愛幼稚園 千葉光子
 - 幼児の繪畫に於ける表現力 ゆかり幼稚園 藤田復生
 - 幼児の音楽に就て トモエ幼稚園 小林宗作
- ハ、經營
- 幼稚園の民主化 三鷹幼稚園 藤井七郎

昨夏奈良に開催せられた全國保育大會における建議及請願と昨秋大阪に開催せられた關西連合保育會の建議の成文は左の通りである。

○幼兒保育機關の刷新振興に 關する建議及び請願

全國保育連合會

昭和二十三年十一月十二日

新しい日本を建設するためには、教育が根本であり、更にそれは乳幼児の保育にまでさかのぼることが、肝要であると信じます。終戦以來保育の重要性が、次第に一般社會に認識されて來ましたことは、當然のことながら喜ばしいことでもあります。昨春から本年にかけて、學校教育法及び兒童福祉法の公布、保育要領の公刊等によつて新時代に即した幼稚園及び保育所の制度、組織が一應整備され、又新しい保育の目的内容、方法等も指示されたのであります。然しながら、保育の今日及び將來における重要性を考えますとき、なお解決されなければならぬ諸問題が山積してゐるのです。われわれ保育者は、相携え相勵まして、乳幼児の福祉増進のために、

保育の實踐並に理論の研究に對して全力を傾倒すると共に、次に掲げる諸施策が、幼兒保育機關の刷新振興を圖るためには、是非實施さるべきであると、去る七月末奈良において開催しました第二回全國保育大會において、全國各地より約六百名の參集を得て、満場一致議決したのであります。依つてこゝに保育者一同の聲を次の形において、建議及び請願致します。再建日本の幼兒教育の將來に思いを至され、即刻且つ強力に實施に移されるよう特に要望する次第であります。

一、建 議

- 一、市（區）町村に幼兒保育機關設置の義務を負わしめると。
- 二、幼稚園教育の義務制を實施すること。
- 三、文部省内に幼稚園課を設けること。
- 四、（一）大學（國立女子大學及び都道府縣内の教員養成大學を含む）に保育専攻の課程を設けること。但し當分の間は修業年限二年の保育専攻の課程をも大學に附設すること。
（二）高等學校卒業を入學資格とする修業年限二年の保育者養成機關を認めること。
- 五、四の（一）（二）の修了者に對しては幼稚園教諭並に保育所保育の資格を與えること。
- 六、幼稚園に養護教諭を置くこと。
- 七、保育所に對する兒童福祉法の實施運用に當つて左の四點

に留意すること。

(一) 保育所の規定(法第三十九條)を兒童福祉の趣旨にかなうよう廣い巾をもたせて解釋し地域の實情に應じて取扱うこと。

(二) 保育所の最低基準令についても實際に即した運用をなすこと。

(三) 民主的な團體による保育所の設置に對しては公營に準じた經濟的補助及びその他適當なる措置を講ずること。

(四) 右に關して重要な役割をもつ地方兒童福祉委員會の構成及び運営を民主的にすること。

八、保育所保育母の待遇を改善すること。

九、公立保育機關の職員俸給は全額都道府縣費支辨とすること。

右建議致します。

建議理由書

一、市(區)町村に幼兒園育機關設置の義務を負わしめること。

現在幼稚園及び保育所を経て小學校に入學する幼兒は、就學兒童の僅か一割五分にも足りないであります。幼兒園育の新しい地位、幼兒の福祉増進の必要、婦人の社會進出への要請、家庭生活の合理化、家庭教育の現状等を考えるとき、乳幼兒保育機關の普及擴充を圖ることが、今日の義務の一であり、而もそのための効果的な手段は、全國の市

(區)町村にもれなく保育機關設置の義務を負わしめることとあります。

二、幼稚園教育の義務制を實施すること。

教育刷新委員會においても、一昨年就學前一年の保育を義務制にすべきことを決議してはいますが、これをわが國保育界の多年に亙る要望であります。幼兒の福祉増進、保育機關の民主化、初等教育の根本的改革を圖るためには全幼兒の就學前一年の保育を義務となし新しい幼稚園教育を施すことが必要であると考へるのであります。この際保育機關の普及充實を圖り、義務制實施への施策を即刻進むべきと思ふのであります。

三、文部省内に幼稚園課を設けること。

幼稚園は從來文部省内の學校教育局初等教育課において所管されて來ましたが、幼兒教育の刷新振興を圖るためには、甚だ不十分であります。幼稚園の發展の遅々たる原因の一つはこれに基くともいへ得ましよう。保育所のためには、厚生省兒童局に保育課を設け、保育所の普及整備に力を盡しているのに倣い、文部省においても幼稚園課を新設し、幼兒教育の刷新振興のために地方に移讓された保育の連絡指導に一段と努力されたいのであります。

四、(一)大學(國立女子大學及び都道府縣内の教員養成大學を含む)に保育専攻の課程を設けること。

但し當分の間は修業年限二年の保育専修の課程をも大學に附設すること。

幼児の教育及び乳幼児の保護に關する研究、調査は、残念ながらわが國において非常におくれています。大學、特に國立女子大學や都道府縣内の教員養成大學においても、兒童學及び保育學の講座を新設して、その研究を進めることが必要不可欠と思ひます。かくして深い研究と教養を身につけた者が保育の實際面にも進出してくれることが期待されるのです。然しながらそれによつて、現在並に近い將來保育者の需要を充すことの困難が豫想されるので、當分の間に限り修業年限二年の保育専修の課程をも大學に附設すべきと思ひます。

(二) 高等學校卒業を入學資格とする修業年限二年の保育者養成機關を認むること。

從來保育者養成の機關は大部分私立の施設にまかせていたこと及び保育者養成機關をも暫定的には、認められたいのであります。

五、四の(一)(二)の修了者に對しては幼稚園教諭並に保育所保育の資格を與へること。

四の(一)(二)の學校の修了者に對して、幼稚園教諭の資格が與えられることは當然であります。そのみでなく、豫め講座及び課程を然るべく按配して、保育所保育の資格をも併せ與へらるべきと思ひます。

六、幼稚園に養護教諭を置くこと。

學校教育法中の幼稚園保育の目標第一は、實に幼児の健康に關することであり。幼児期は特に病氣に罹りやす

く、怪我もしやすく、又幼稚園の如き幼児の集團生活においては、傳染病も多いのであります。而も不健康は幼児のその後の心身發達にも影響するところ頗る大なのでありますから、小學校以上に必要と思はれる養護教育を幼稚園に置き得るよう早急に定められたいのであります。

七、保育所に對する兒童福祉法の實施運用に當つて左の四點に留意すること。

兒童福祉法の適用實施について保育所においては、寧ろその普及促進を妨げるような事態にも當面してゐることは遺憾であります。従つて特に前述の四點について、適切な取計らひを希望するのであります。

八、保育所保育の待遇を改善すること。

保育所保育と幼稚園教諭とは、その資格が或る意味では同一となつたのであります。勤務實質面においては、前者が後者よりその負擔が過重であつて、而も保育所保育の待遇は、一般に待遇の悪いといわれている幼稚園教諭より更に低く、乳幼児の保育に専心することが、誠に困難な事情にあります。従つて保育所保育の給與の實態を正確に調査の上、その待遇を實質的に改善する措置を直ちに講ぜられたいのであります。

九、公立保育機關の職員俸給費は全額都道府縣支辨とする

こと。
保育機關の重要性に對する認識がなお不充分であつたと、従つて公立保育機關も充分に普及充實しておらず、又

都會地にそれが偏在していたために、その職員の俸給費も從來市町村費支辨でありました。然し乳幼児教育の時代的意義にかえりみ、保育者の自主性を確立し、又職員の特遇を適正ならしめるためには、公立幼稚園及び公立保育所の職員の俸給費は市町村の手を離れ、全額都道府縣費支辨となすべきが正當と考えられるのであります。これ本建議を提出する所以であります。

二、請 願

- 一、幼児の福祉増進のため幼稚園及び保育所關係者を歐米各國に派遣すること。
 - 二、幼稚園教諭に保育所保母の資格を、保育所保母に幼稚園教諭の資格を與えること。
 - 三、保育機關に對し、給食物資、衣料、保育用品、保育資材等を正規ルートによつて配給すること。
 - 四、都道府縣及び五大都市に幼稚園專任の指導主事を置くこと。
 - 五、保育所に巡回保健婦を置くこと。
 - 六、授護兒童保育料を本年四月一日にさかのぼり交附されたこと。
- 右請願致します。

請 願 理 由 書

一、幼児の福祉増進のため幼稚園及び保育所關係者を歐米各

國に派遣すること。

戰爭以來長く歐米の幼児保育界から隔離され、先進國の乳幼児教育保護の現狀については殆ど知ることが出来ませんでした。幼児保育の振興のため、延いて幼児の福祉増進のため、幼稚園及び保育所關係者をして歐米先進國の幼児保育の現狀を視察せしめ、又世界各國に留學せしめることは、今日極めて緊要なことと思ひます。従つてかゝる機會を是非關係者に特に若い婦人にも與えられたいのであります。

二、幼稚園教諭に保育所保母の資格を、保育所保母に幼稚園教諭の資格を與えること。

保育關係者によつて、保育事業（幼稚園及び保育所）の一元化が多年に互り要望されて來ました。然るに新時代に即した保育においても制度的には學校教育法と兒童福祉法とに二元的に定まりました。然し對象としての幼児にしても又その保育内容においても、幼稚園及び保育所は共に殆ど共通で大差ないのでありますから、特別な講習その他の措置を講じ、現幼稚園教諭に保育所保母の資格を、現保育所保母に幼稚園教諭の資格を與え得るよう配慮されたいのであります。

三、保育機關に對し給食物資、衣料、保育資材等を正規ルートによつて配給すること。

從來保育機關に對しての諸物資、資材の配給は、極めて不十分であり、場合によつては、忘れられることもありまし

た。それが保育機關の運営、復興、新設に當つて惡條件を倍加してゐました。従つて保育機關の幼児數をも含めての需給配給計畫を樹立されて、保育資材、給食物資、衣料、藥品、保育用品中特に樂器、机、椅子、遊具、クレオン、紙等を正規ルートにより、保育機關に適確に配給されたいのであります。又學校において免稅の物は、保育機關におつてもさう取扱はるべきと思ひます。

四、都道府縣及び五大都市に幼稚園專任の指導主事を置くこと。今回教育委員會の發足によつて教育が地方に委譲されることになりました。そして都道府縣及び五大都市の教育委員會の事務局には、指導主事が置かれる筈ですが、從來不振であつた幼児教育の刷新振興のために又保育が特殊な學校教育であることに基づき、他の學校と兼務でない専門の指導主事を置く必要があると考へますので、是非然るべく考慮されたいのであります。

五、保育所に巡廻保健婦を置くこと。

兒童福祉法に基づいて保育所に保健婦を置くことになつたことは、乳幼児の健康増進に大きな役割を果すことと喜ばしく思ひます。然しながら各保育所ごとに保健婦を置くことは、經費上から現状では、極めて困難に思はれますので、巡廻保健婦に保育所を巡廻せしめる制度を是非設けられたいのであります。そのため市町村の保健所の保健婦を定期的に巡廻せしめるよう措置せられることも一方法であるかと考へます。

六、授護兒童保育料を本年四月一日にさかのぼり交附されたいこと。

保育所の整備充實のために、兒童福祉法によつて保育所も認可を受けることになりました。然し種々の事情でその認可の手續がおくれている所も相當數あるようです。その場合四月から授護乳幼児の保育料が交附されず、従つて經營上困つてゐる保育所があるのです。かような保育所の授護兒童の保育料をば本年四月にさかのぼつて是非交附されたいのであります。

これ本請願を提出する所以であります。

○幼児教育の向上發展に

關する建議書

關西連合保育會

建議

- 一、幼児教育機關の設立を義務制にせられたい。
 - 二、幼稚園の教官を大學に於いて養成せられたい。
- 我が國再建の基礎は教育力によつて決定せられるのであります。しかも教育の基礎である幼児教育の向上發展の如何がその決定を左右するものと確信いたします。

今や、六、三、三、四の新教育制度のうちすでに、六、三、三の制度は確立を見るにいたり、來春は最後の段階である大學制度の確立さえ完成する運びと成りました。しかし人間教育の根基である幼児教育を施さずしては如何に六、三、三、四の教育制度のもとで教育を行うとも所詮完成された社會人とはなり得ないでしょう。こゝに於いて、學令前の幼児教育施設の整備擴充と、幼児教育者の權威ある養成機關の設置とを必要とするのでありまして右二項を建議に及んだ次第であります。

建議理由

一、幼児教育機關の設立を義務制にせられたい。

幼稚園教育を受けているものと、保育所の保育を受けているものとを合せても全國幼児數の一割にも満たない現状では、教育によつて國を建てる基盤の盤石の望むことができなればかりでなく、このまゝではいつまでたつても幼児教育の發展が阻害されます。よつて地方自治團體に對して幼児教育機關を必ず設置するよう義務制を制定せられたいのであります。

二、幼稚園の教官を大學に於いて養成せられたい。

小學校並にそれ以上の教育を擔當する教官はそれぞれ新制大學において養成せられるときいておりませんが、幼稚園教育を擔當する教官は果して何處で養成せられるのでありましようか。最もけがれの少ない純眞な幼児の教育を擔當

する教官こそ、最高の教育を受けた人格識見ともになすぐれた人でなければ、生涯に禍根を残すこと必定と信じます。故に幼児を教育する幼児教育者こそ、最高學府である大學で養成せられたいのであります。

以上をもつて建議の理由といたします。

○日本保育會

かねて準備委員會によつて準備計畫中であつた日本保育學會は、その第一回研究發表會を左の通り開催された。

當日は參會者三六一名。東京(二〇九) 神奈川(六四) 千葉(一七) 埼玉(一四) 群馬(八) 栃木(一) 静岡(三) 長野(二) 山梨(二) を始め、愛知(一) 大阪(一四) 兵庫(六) 奈良(三) 岡山(三) 大分(二) 福島(三) 山形(二) 岩手(一) 石川(一) 新潟(六) の遠きに及び、極めて盛會であつた上に、研究發表、シンポジウムともに、活潑な討論によつて學會の盛觀を呈した。

一、日時 昭和二十三年十一月二十一日(日)

(午前九時より午後四時まで)

一、會場 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

(都電大塚仲町下車)

プログラム

第一部 (午前九時—午前十時)

開會の辭 山下俊郎

總司令部民間情報教育部ヤイディー女史の

メツセージ(及川ふみ朗讀)

第二部 研究發表(午前十時—午後二時)

一、幼兒學校に於ける兩親教育

愛育研究所 村山貞雄

二、小兒期における傳染病の罹病時期と罹病年令

日本女子大學兒童研究所 長竹正春

三、幼兒と繪畫

森晶子 久保貞次郎

四、幼兒の時の觀念と童話との關係

東京高等保育學校 内山憲尙

五、幼兒の睡眠の實態について

愛育研究所 平井信義

六、幼兒の遊びについて

愛育研究所 竹田俊雄

七、年少兒保育の方法的問題

東京都兒童課 鈴木とく

八、「保育要領」批判

奈良女子高等師範學校 小川正通

九、都市と農村の乳幼兒の發達の比較研究—第一報

日本女子大學兒童研究所 兒玉省

十、骨格と個人差

東京保育專修學校 坂内三津

十一、保母の問題

厚生省 保育課 副島はま

十二、女學生の保母觀について

愛育研究所 森脇要

十三、保育效果に關する研究 愛育研究所 山下俊郎

第三部 シンポジウム(午後二時—午後四時)

「幼兒の教育年齢の問題」

司會 倉橋惣三

一、現行教育法の立場から

文部省學校教育局 三木安正

二、兒童福祉の立場から

厚生省兒童局 吉見靜江

三、心理學的立場から

愛育研究所 山下俊郎

四、醫學的立場から

愛育研究所 齋藤文雄

五、教育學的立場から

城戸幡太郎 倉橋惣三

○ヤイディー女史のメツセージ

此度創設されました、日本保育學會に對しまして、御挨拶申し上げます機會を得ました事を、誠に嬉しく存じます、私は永年アメリカ兒童教育協會の會員でありまして、同協會が我々の最も價値ある教育的な機關であると考えて居ります。同協會が開催致しますところの、地方都會、州協議會及び全國協議會に参加し、また同協會の出版物を受けることは、會員の大きな誇りになつて居ります。アメリカに於けるこの協會は、あらゆる他の團體にもまして、幼兒の要求、及び興味に叶ふところの教育計畫を樹立する爲の責任を負つて來て居ります。そして幼兒教育に於ける改善の

結果として、もたらされたところの、幼児の心身の成長及び發達に關する研究を行つて参りました。それは、どういふことかと申しますと、

第一、保母による形式的指導を少くして、幼児が自ら價值ある活動を選ぶ様な機會を出来るかぎり多くすること、
第二、幼児の活動に於て、用いられる設備や材料を充分にする事。

第三、社會研究に於ける構成的作業の機會を多くし昔の學校よりも、もつと勝れた影響を與えてくれる社會生活に接する機會を充分に與える事。

第四、創作的な活動に於て出来るだけ、保母の指導を少なくし、色々の種類の材料によつて自己表現をする機會を出来るだけ與えること。

第五、幼児に於ける知的發達と、同様に身體的、社會的及び情緒的發達を重んずること
であります。

この協會は、單に、幼児保育に於て、教育の改善を行つただけでなく、小學校第一學年の教育に於ても同じ様に改革をいたしました。ACE（兒童教育協會）のためさる、そして、適切な努力によつて小學校第一學年の教育は、最早、單なる文字教育をするだけではなくなりました。小學校第一學年の教師達は、子供達を、そのあるがまゝに受取つて、彼等の要求や能力を研究し、そして子供達に、社會的、情緒的、身體的及び知的な發達を充分に遂げさせる爲

め、充分の機會を與える様に要求される事になつて居ります。大多數の州に於ては、ACEの努力によつて幼稚園は、正規の初等教育の一部分になり、その就學率を基礎として、一般の小學校と、同様の財政的な支持を受けてゐます。アメリカの兒童教育協會は、姉妹團體として日本保育學會をむかえる事を嬉しく思ひます。この學會の新會長が、アメリカの協會の會長に挨拶をお書きになれば、私は喜んでこれをお取次致します。そして、新會長の御住所とお名前が分りましたならば、私は喜んでアメリカ兒童教育協會の一年間の出版物を、全部揃えておとどけたいと思ひます。

總司令部民間情報教育部初等教育課長

ホーリン・ヤイデー

○東京都保育連合會

保育研究發表會並保育協議會

東京都保育連合會

東京都内公私幼稚園及保育所の従事者數百、會場の狭わい
を感じる熱心なる盛會であつた。

一、日時 十一月二十三日（休日）

午前九時より午後四時まで

二、會場 東京女高師附屬幼稚園
三、會次第

(イ) 開會式

(ロ) 保育研究發表會

(1) 木の葉のいろく

(2) 健康 保育

(3) 一日の保育プラン

(4) 保育の壁新聞

(5) 幼稚園の遊戯について

(6) 園児の金遣ひ調査に就て

(7) 公立保育所に於ける自由保育の報告

(8) 新保育の基本的調査に就て

(9) 分園保育の實際調査に就て

(ハ) 保育協議會 (各部署において)

(1) 分園保育に關する部會

(2) 健康保育に關する部會

(3) リズム保育に關する部會

(4) 觀察保育に關する部會

(5) 家庭との連絡に關する部會

司會者 秋田典子

葛飾學園 平野ミキ

板橋保育園 有賀のぶ

成城幼稚園 彌富綾子

聖園幼稚園 内山千枝子

東京女高師幼稚園 村田修子

感應幼稚園 田宮紀

神田保育園 細川とよ

小櫻幼稚園 櫻井孝子

西櫻幼稚園 山村きよ

司會者 山田カイ

小林伸子

増子とし

菊地フチノ

同 鎌田しん

○會告

日本保育學會の創設と、その第一回大會の盛況は、別項の通りであります。その研究發表と、シンポジウムの筆記とを網羅して、本誌の日本保育學會特集號とし、ページ數の關係上、二月號と三月號を併せて、倍大號として發刊することになりました。そのため、二月發行分を日延べして、三月上旬の發行となることを御諒承願います。

この特集號の内容が、如何に豊富に、學的に、保育研究上先づ誌友の御満足を得、將來の文献となることを信じて居ります。御期待を希います。

(特價普通號の倍額の豫定)

こどももらごいつしよに

お正月を迎える

倉橋惣三

一月といつては、あつけないし、新年といつても、かどばる。ハッピー・ニューイヤーは、朗かだが、とてもほんとうのプロナウンシェーションもアクセントもむづかしい。昔々からというよりも、生れた時から聞きなれ、こどもの時から言いなれた『お正月おめでとう』が、この月の感じを、一番びつたり出す。殊に幼いこどもが、あの可愛い唇で、そう言つて呉れるとき、自分のこどものとき

くるしい。將來を慶賀するというのもふんべつがはいる。相變りませずに至つては、ひつっこい。たゞ今日を、今を、前を忘れ、後を思ふぬ幸福感で充ちこぼれてこそ、それだけでこそ、こどもといつしよにお正月を迎えているのだ。そのたわいな氣もちでこそ、こどもらこいつしよに、たこがあげられる。はねがつけからつ風の中も甞けまわれる。雪どけのぬかるみ道も飛び歩ける。少し位、何が何んであつても、叱らないし、「教育」もしない。たゞもう、お正月おめでとうと言つてやる。子供のためのお正月

月ではない。こどものお正月だから、おめでとうとでいつてやるよりはかに言葉もない。ほかに言いようがないというよりも、自分のこどものときの言葉そのまゝが、年經て古びた唇からも、生き生きと出て來るのだ。

あんまり、こどもに歸つていてもいけないから三ヶ日に限つたのか、松の内五日に切りつけたのか。いゝではないか十日でも十五日でも、一月でも一年でも、こんな心で、こどもといつしよに日が迎えられたら、その一日々々を、こどものための日以上、こどもの日にしてやることができよう。それこそ、こどもにも、われらにも、どんなに幸福だろう。年がら年ぢゆう、そうもいかないから、一年に一度づゝお正月があるのだとおつしやるのですか。なるほど、そういう譯もありましようが、毎日お正月だつて、こどもはいやとは思いませんまい。たゞ、わたしたちが、その毎日をこどもの日として、始終、いつしよにおめでとうといえるかどうかです。

こどもにとつて、お正月は歳を一つ加

えてくれることに相違ない。わが子の成長を願う親たちとしては、それが喜びであることにも相違ない。が、實のところをいえば、こどもはそんなことを考へてはいない。おとなに近くなることが嬉しいのではなくて、此の數日、すつかりこどもになれることが嬉しいのであるまいか。もつと説明的にいえば、家庭からも社會からも、こどもをこどもらしく楽しませて貰えるのが嬉しいのであるまいか。あのこどもらが喜んで歌うお正月の歌でも「もういくつねると」と占待つてゐるのは、たこをあげ、追ひ羽子つくお正月の日であつて、一つ大きくなることでもなし、まして、だからしつかりしようなんていうことでもない。それでは、お正月の祝すべき所でもないではないかと言う人があつたら、それは、こどものお正月を解しない人である。

おとなの正月にしても、必ずしも加齢の喜びでもあるまい。年々歳々の加齢は、悲しくもないが、何んでもないことかも知れない。殊に、こどもらといつしよに迎えるお正月は、加齢よりも減齡

(?)の日である。若がえりどころか、こどもがえりである。だからこそ、いゝ歳をして、たこもあげる、追羽子もつく。齡々がそういう気分になるばかりでなく、互にその気分になりあい、社會的にも承認する。

こどもがお正月を喜ぶのは、こどもらしく楽しませて貰えるからだと前にいつたが、よく考へてみると、それではまだ説明が足りない。もつと深くは、おとなたちが、自分らと同じこどもになつてくれるからである。おとなは、こどもがおとなでないことに屢々不満であつたりするのであるが、こどもこそ、おとながこどもでないことに、どの位、屢々不満を感じさせられていることであらう。それが、お正月には、おとなが自分たちと同じになつてくれるのである。こどもらも、快心の至りとするのも察せられるというものであるまいか。

お正月には、何にでも「初め」という字をつけることになつてゐる。初日の出、若し雨が降れば初の雨。初笑い、若し泣けば初泣き。その意味は、その年で

の初めということでもあらうが、更には、日の出そのものゝ新らしさ、すなわち新らしく、ういゝしい日の出、笑ひそのことの新らしさ、すなわち新らしく、ういゝしい笑ひという感じが籠つてゐるのである。その時、人間も亦、新らしく生れ、ういゝしくならずにいぬ。その意味で、「新年おめでとう」も、たゞ、新らしい年ですなわといつただけの、外面的の挨拶ではなくて、あなたも、もう一度新らしくおなりですなわといふ、内面的の祝意でなければなるまい。人間は新らしくなることほど目出度いこととはなく、ういゝしいほど幸福なことではない。達人は常に新らしい心をもち、ういゝしさを失わないといわれるが、われらの風俗は、古り易く、ひからびがちであるを免れない。せめて、三百六十五日目に一度づゝ、新らしくういゝしく、すなわち、こどもに歸るのである。

幼 兒 の 心 理 的 發 達 (一)

愛育研究所敬養部長 山下俊郎

序

幼児の心理的發達についてしばらく述べて見たいと思うのであるが、この問題を考えるに當つて二つの立場がある。その第一は、ひろく幼児一般というものを全體的につかんでその心理的特質を明らかにしようという立場であり、第二は、さらに幼児という時期の中に、年令に伴う發達を細かに考えて行こうとする立場である。こゝでは、第二の行き方をとつて、各年令毎にその發達の特質を考えて行き度いと思う。一體幼児期という時期は廣くいうと、生れてから小學校に入學するまでの時期を言うのであるが、これを年令別に分けて見ると、一歳未満の乳兒、一歳から二歳までの幼兒（一歳兒という。以下これにならう）二歳兒、三歳兒、四歳兒、五歳兒ということになり、各年令の幼兒はそれぞれに發達の特質を持つてゐる。この講話では二歳以上の幼兒に就いて一通り述

べたいと思うのであるが、順序として二歳以前の乳幼兒の心理的發達について、簡単に述べてから本論に入る事とし、また二歳以上の幼兒に就いても、四歳五歳の幼兒の所に重點を置いて述べて行きたいと思う。なお、心理的發達に色々の側面を分けて考える事が出来るのであるが、私はこゝでは運動の發達、知的發達、情緒的發達、社會的發達の四つの面に分けて述べて行く事を原則とした。たゞ二歳未満の乳幼兒の場合には、この全體を總括的に述べて行くという事にしたと思う。

一、一歳未満兒の心理的發達

1 一歳未満兒の心理的發達

満一歳までの乳兒は心理的發達に於ては丁度芽生えの時期にあるといえる。心の色々のはたらきが段々に芽を出し揃え

て来るのである。

感覺はまず一番始めに發達する心のはたらきである。味覺、きう覺、觸覺、溫度の感覺といつたような感覺は生れたての新生兒でも充分に働くようになってゐる。視覺は他の感覺に比べて一番おくれるが、生後間もなく光に感じる事が始まり、生後一ヶ月たつと凝視する事が出来るようになり、二ヶ月から三ヶ月たつと色が充分にわかるようになって、四ヶ月頃にはどの方向へも眼球が動かせるようになると共に遠い所も充分に見る事が出来るようになって来る。聽覺の發達は、視覺よりは早い、生後一週間で聞える事は聞えるようになり、二ヶ月以後になると音の方向で判断も可なり出来るようになって来るのである。このようにして感覺は生後四ヶ月頃には一通り基礎が出来るが、手の運動や觸覺と結びついて、心の發達の第一關門として完成するのはおよそ五ヶ月頃である。

感覺と同じように早くから發達するものは運動である。運動の發達は一月毎にめざましいものがあるが、殊に目立つて来るのは、三ヶ月頃からである。三ヶ月頃から子供の運動は非常に活潑になつて来る。そしてこの頃に首がすわり、五ヶ月になると眼で見たいものに手を伸ばして掴むようになり、六ヶ月で寝返りをし、七ヶ月で座るようになり、八ヶ月で這い、この様にして、生後一年にして一人で立つことが出来るようになる。

情緒生活に於て一歳未満の乳兒はその芽生えの状態にあるが、それでも、三ヶ月頃には「怒り」の最初の現われが見られ、六ヶ月頃には「恐れ」の現われを見る事が出来る。一方快に對する反應としての笑いは微笑が二ヶ月、高笑いが四ヶ月で見られ、六七ヶ月頃には手足をバタ／＼させて喜ぶというような表現が見られるようになって来る。

知的生活の基礎としての感覺の發達に就いては右に述べたが、乳兒期の最初の三ヶ月の間に知的なはたらきの基礎になるような働きがめだつて進んで来る。即ち、記憶、模倣、注意等のはたらきは生後八九ヶ月頃から非常に發達する。従つて、例えば、ニギ／＼、アバ／＼というような發音も出来るようになり、坐つた姿勢で同時に兩手に注意を配つて、ものを持つ事が出来るようになって来る。このような知的生活が芽生えて來た事は、十ヶ月頃に子供はウマ／＼というような最初の片言をいうようになる事にも見られ、また手の届かないものを紐でひつぱりよせるといふような思考力が出て來ることにもあらわに觀察されるのである。一歳未満兒の心理的發達はこのようにして、ようやく知的生活の萌芽を見るところまで到達するものであるといふ事が出来る。

2. 一歳兒の心理的發達

右に述べたように、子供は一歳に達すると一人で立てるようになるが、一歳三ヶ月になると今度は一人で歩けるようになって来る。そして、一歳六ヶ月頃には走ることも出来るよ

うになり、一歳八カ月頃にはつかまらないうで、いきいを越えるという事も出来るようになる。そしておよそ満二歳頃までの間に歩く事が一通り自由自在に出来るようになるのが普通である。また一歳半頃には、鉛筆やクレヨンを持つて、何かしらわけの分らないものを描きながら、いわゆるなぐり描きとかひつかけ繪といわれるものを描くようになって来るが、この頃指の運動の自由が大分利いて来るようになる事は、ものを食べるのにスプーンを自分が持つて食べたり、茶わんに入った水や湯を自分で茶わんを持つて飲むようになることにも見られる。

言語生活を見るとお誕生前に最初の片言を言えるようになって子供は、一歳過ぎて段々言葉を覚えて行くが、最初の半年はいわゆる一語文といわれる言葉を使う時期であつて、一語ですべての用を足すのである。すなわち「マンマ」という一語は「マンマチョウダイ」の意味であるというように。ところで言葉の發達は一歳半から二歳までの間にまた一段と進んで来る。即ち、一歳半すぎた子供は盛にももの名前を聞きながら、言葉をどん／＼覚えて行く。また、前の「一語文」という形を卒業して、「オオキイバント／＼」「マンマチョウダイ」というように、二語以上の文章を話すようになって来るのである。このように言語生活に、子供の知的發達が見られるのであるが、このことは、さらに子供達が、この時期に繪というものを理解出来るようになる事にも現われている。繪本がこの時期には始めて繪本としての意味を持つて来るわけであ

る。

情緒生活に於て幼児達は二歳までの間に更に發達するが、乳兒の間に見られた怒り、恐れというような情緒のほか、不満というような情緒も出て来るし、愛情、喜び、快というような細かな感情も現われて来て、次第に、情緒生活がこまやかになつて来ることをわたくし達は觀察する事が出来る。

幼児達の社會生活は、この年令までは子供同志の社會生活にはまだ見るべきものがない。大體大人との關係に見られる面にいる／＼の發達が見られるだけである。即ち、一歳三ヶ月頃には、子供達は禁止命令即ち「いけません」ということを理解するようになるが、更に一歳六ヶ月すぎると簡単な命令即ち例えば「本を持つて来て頂戴」というような事が分り、これを實行する事が出来るようになるのが普通である。

このようにして、一歳兒は自分の身體を何處へでも移動出来る自由さを獲得する所に大きな發達が見られ、言語生活の本格的な開始に伴つて知的發達も一進歩を劃し、情緒的發達にも社會的發達にも一段と進んで、次の二歳兒になつてからの精神發達の土臺を形作る段階に在るといふ事が出来る。

お詫び

前號（第四七卷第一〇號）の表紙裏廣告中「こがねのりんご」の定価が四〇圓、「ごしきのたま」の定価が四圓となつておますが、これはそれ／＼こがねのりんご四五圓、ごしきのたま、四〇圓の誤りにつき誤んでおわび訂正いたします。

會から

○新年に際して、皆さんの益々御健康を祝し、保育界のために層一層の御活躍を祈ります。

○井本農一氏は現代國文學者として、また現に幼児のよきおとうさんとして、幼児教育に對する清新な感覺をお寄せいたゞいたことは、新春の好文字として、本誌を飾るところのものであります。

○山村きよ氏の研究は、昨冬開かれた東京都連合保育會研究發表會において發表せられたもので、分國保育に關しその實際調査を基本とする好資料として、特に求めて掲載しました。分國保育については論議もいろいろありますが、一齊保育の短所を除くための新保育上の一問題として、どこまでも實際的に研究されなければなりません。本調査が一つの参照となつて廣く研究の進められることを希望します。

○青柳美智代氏の御報告は、本誌が豫て氏の協會組織上の誠意と手腕とに多大の敬意を表すところから、特にその報告を乞うたものであります。たゞに東京都私立幼稚園のこととしてのみでなく、重要な私立幼稚園發展の一般問題の上に、極めてきびに觸れた示唆を與えらるるものであります。

○保育界報は豫て本誌の使命としてゐるところであります。各地における保育上の御活動について、細大もろすなき御報導を希うてやみません。

○山下俊郎氏の連續講話「幼児の心理的發展」は幼児教育者にとつて何より大切な此の知識について、詳細な説述をつゞけられるものであります。必ずや、皆さんに心から迎えられることを信じます。

○保育界の發展に伴い、また、その發展の一動力として、本誌の重責は年と共に加わるを痛感します。いよ／＼皆さんの御協力を得て、全國の保育關係者の全購讀を切望します。そのためにも御支援を乞います。

『幼児の教育』編集

編集主幹

協力委員

倉橋 愨 三

牛島 義 友
及川 文 夫
齊藤 鐵 雄
多田 鐵 郎
山下 俊 郎

編集部員

西山 浪 太 郎
日本幼稚園協會

幼児の教育

第四十八卷 第一號
定價 金二拾圓也

昭和二十三年十二月二十日印刷
昭和二十四年一月一日發行

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

編輯兼 發行所 倉橋 愨 三

東京都千代田區神田神保町二ノ四

印刷所 佐野 眞 一

東京都千代田區神田神保町三ノ二九

印刷所 明和印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(39)三 九七 一 番

振替東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他は凡べて發賣所「フレーベル館宛に願います

模倣遊戯用品



ままでごと用具

お勝手道具
膳部
茶器

金貳百參拾圓
金百貳拾圓
金百八拾圓

送料
參拾圓

月謝袋

五十枚一組
定價金四十五圓
送料金五圓

出席簿

五十枚一組
定價金七十五圓
送料金五圓

砂型

四個入
賣價金百圓
送料金貳拾圓

玉落し

賣價金百五十圓
送料別金貳拾圓

木球を轉かして的確に當ると球が落ちる、落ちた球には六面の凹所が六色になつてゐる。今度は何色が出るかと云ひ當てるのは餘興である、此の見當を付けて輕球を的に當てると云ふことが種々高級なる精神機能の練習となります。

發行所

東京都千代田區神田
神保町二丁目四番地

株式會社

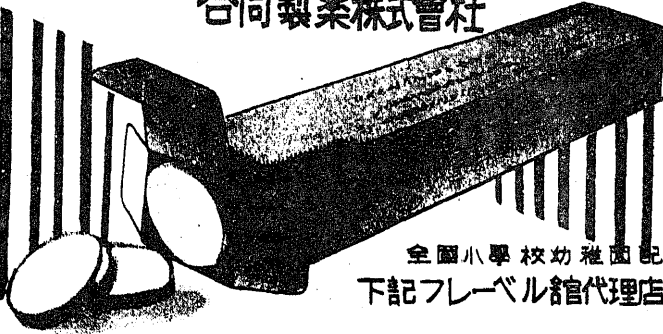
フレーベル館

東京座口座
振替一九六四〇番

厚生労働省国民栄養協会推奨

Lavie Lavie Lavie Lavie Lavie Lavie Lavie
 甘味カルシウム 新製剤 **ラビー** 製法特許 動物質カルシウム主剤

合同製薬株式会社



全国小学校幼稚園配用品
 下記フレーベル館代理店会取扱

フレーベル館代理店會

- | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| 關東代理店
愛育館 | 關西代理店
安田商社 | 中國代理店
岐阜市湊町十八番地
明生社 | 九州出張所
岡山市弓之町百三十四番地
幼兒の友社 | 四國代理店
福岡市地行東町一ノ上三七
幼兒の友社 | 北陸代理店
松山市末廣町二丁目二十二番地
柴田喜一 | 東部代理店
福井市豊島上町五十六番地
岡田廣太郎 | 新瀉代理店
東京都葛飾區金町二ノ一〇七二
川合政一 | 東北代理店
新瀉縣柏崎市新瀉訪町二番地
關東興業株式會社 | 東北代理店
群馬縣伊勢崎市新町
淺見商事 | 北海道代理店
高崎市田町三丁目十六番地
柏幼舎 | 北海道代理店
北海帶廣市東一條南九丁目一〇番地 |
|--------------|---------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|